

# 訂正表

## 〈世界史問題〉

### 【大問1】

- P.3 問5 × Cについて。国民政府はこの川流域の三都市に拠点を置いた。  
○ Cについて。国民政府はこの川流域の三都市に首都を置いた。
- P.5 問16 × c この川流域でトハラ族が活動していたが、中国ではこれを西夏とよんだ。  
○ c この川流域でトハラ族が活動していたが、中国ではこれを大夏とよんだ。

(2012年度)

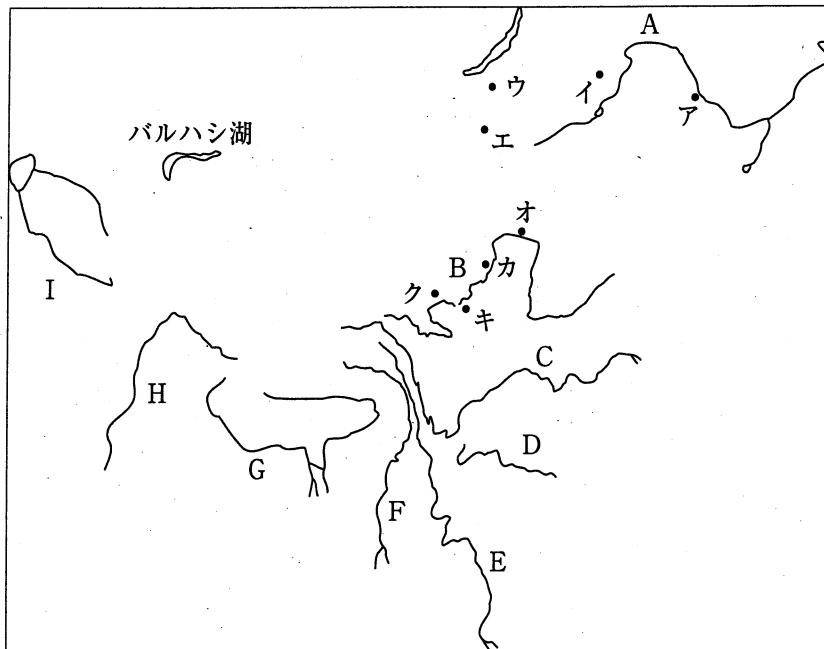
### 3 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は17ページ、4問である。)

#### 受験についての注意

1. 監督の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 携帯電話・PHSの電源は切ること。
3. 試験開始前に、監督から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号かどうかを確認し、氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
4. 監督から試験開始の合図があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっているかどうか確かめること。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能などを使用してはならない。
7. マークをするとき、枠からはみ出したり、枠のなかに白い部分を残したり、文字や番号、枠などに○や×をつけたりしてはならない。
8. 訂正する場合は、消しゴムでいねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。採点が不可能になる。
10. 試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

- 1 下の地図はアジアの大河(A～I)と湖を描いた略図である(海岸線は省略してある)。この略図と関連する文章を読んで以下の問(1～17)に答えなさい。解答は選択肢(a～d)からもっとも適するものを選びなさい。



Aについて。咸豊帝のとき、この川を国境とする、清・露間の条約が結ばれた。

問1 この条約とは何か。

- a ネルチンスク条約    b キャフタ条約    c アイグン条約  
d 北京条約

問2 この条約が結ばれたのは地図上のどの地点か。

- a ア    b イ    c ウ    d エ

Bについて。11世紀前半、この川の上流域でタングート族が建国した。

問3 その国の都はどこか。

- a 興慶府    b 上京会寧府    c 上京臨潢府    d 上京竜泉府

問4 都の位置は地図上のどの地点か。

- a オ    b カ    c キ    d ク

Cについて。国民政府はこの川流域の三都市に拠点を置いた。

問5 この三都市とはどこか。

- a 上海・武漢・南京    b 広州・上海・成都    c 武漢・重慶・南京  
d 重慶・広州・成都

Dについて。この川の下流には古くから南海貿易で繁栄していた港市がある。

問6 この川とは何か。

- a 長江    b 淮水    c 黄河    d 珠江

問7 この港市についての正しい記述はどれか。

- a 宋代に初めてここに市舶司がおかれた。  
b 孫文は、興中会を結成した翌年、ここで武装蜂起した。  
c ここで張学良が蒋介石を監禁する事件を起こした。  
d マルコ=ポーロはここをザイトンと記した。

Eについて。この川の中流域はラオスとタイの国境となっている。

問8 この川についての記述のうち誤っているものはどれか。

- a この川の源はチベット高原である。  
b この川の中流域にラオスの首都ビエンチャンがある。  
c この川はタイを縦断して海にそそいでいる。  
d この川の河口の北方にホーチミン市がある。

問9 この川の下流域を支配していた国でないものはどれか。

- a ピュー    b 扶南    c 真臘    d 阮朝

Fについて。この川の流域にバガン朝が建国された。

問10 この川の流域に成立していた王朝について誤っている記述はどれか。

- a バガン朝はビルマ最初の統一王朝であり、明によって滅ぼされた。
- b トウンゲー朝はアユタヤ朝との抗争で衰退した。
- c コンバウン朝はアユタヤ朝を滅ぼし、清の侵入を退けた。
- d イギリスはコンバウン朝を滅ぼし、ビルマをインド帝国に併合した。

問11 この川の下流域はある作物の有数の産地であるが、それは何か。

- a 稲
- b 綿花
- c トウモロコシ
- d ジャガイモ

Gについて。前1000年ごろアーリヤ人がこの川の流域に定着した。

問12 この川の流域に成立していた国・王朝でないものはどれか。

- a コーサラ国
- b ナンダ朝
- c チョーラ朝
- d マガダ国

問13 この川の下流にある大都市について正しい記述はどれか。

- a この都市は17世紀末にイギリスの東インド会社が拠点を置いてから繁栄した。
- b この都市は17世紀半ばにイギリスがポルトガルから譲り受けた。
- c この都市の近くで18世紀半ばにカーナティック戦争がおこった。
- d この都市には17世紀初めにオランダの商館が建設され、総督府が置かれた。

Hについて。この川はパキスタンを縦断してアラビア海に流れこんでいる。

問14 この川に関する記述として正しいものはどれか。

- a 中流域の肥沃な地域をパンジャブとよんでいる。
- b パキスタンという国名はこの川にちなんでつけられた。
- c 上流域のシンド地方にモエンジョ = ダーロの遺跡がある。
- d 河口部に港市として栄えたボンベイがある。

- 問15 アラビア海の貿易事情などについてギリシア人が著した本は何か。
- a 『世界の記述』
  - b 『三大陸周遊記』
  - c 『南海寄帰内法伝』
  - d 『エリュトゥラー海案内記』

Iについて。この川はパミール高原を源とし、アラル海にそそいでいる。

- 問16 この川に関する記述として誤っているものはどれか。
- a この川はオクソス川ともよばれる。
  - b この川流域のギリシア系住民がバクトリアを建てた。
  - c この川流域でトハラ族が活動していたが、中国ではこれを西夏とよんだ。
  - d この川の上流域はフェルガナとよばれ、漢の武帝が遠征を命じた。

- 問17 この川と、北方に並行して流れる川に挟まれた地域についての記述で正しいものはどれか。
- a この地域は農業に適しており、「肥沃な三日月地帯」とよばれる。
  - b この地域はソグディアナとよばれ、西トルキスタンの中心地となっている。
  - c この地域は「両河地方」とよばれ、現在のトルクメニスタン領となっている。
  - d この地域はアナトリアとよばれ、サマルカンドが中心となっている。

**2** 次の文章を読んで、空欄(1～25)に入るもっとも適切な語を選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

( 1 )年に勃発した日露戦争は単に東アジアの局地戦争ではなく、欧米列強の利害関係と国際政治に、極めて有機的な関係を持っていた。中国大陸の( 2 )に権益を持っていたイギリスは( 3 )で東アジアに目を向ける余裕がなく、それまでの( 4 )を捨て、( 5 )年1月に成立した日英同盟によって

ロシアの( 6 )に対抗しようとした。

この同盟条約の主要部分以下の通りである。

第二条 若し日本国又は大不列顛国の一方が上記各自の利益を防護する上に於いて列国と戦端を開くに至りたる時は、他の一方の締約国は厳正( 7 )を守り…

第三条 …若し他の一国又は数国が該同盟国に対して交戦に加わる時は、他の締約国は来りて( 8 )を与え、協同( 9 )に当るべし…(原文の片仮名と旧漢字他を読みやすいように現代風に改めた。外務省編『日本外交年表並主要文書、1840-1945』原書房、1965年、203-204頁)

そこで日露戦争に巻き込まれることをもっとも嫌ったイギリスは、ロシアに味方をする国が現れて、日本が二国を相手に戦うような状況は是非とも避ける必要があった。

ここで改めて強調するまでもなく、そうした可能性が最も高い国は( 10 )であり、両国関係は( 11 )年には、軍事同盟にまで強化されていたのである。なお、( 12 )下野の後、( 13 )はロシアとの( 14 )の不更新を決断したため、ロシアは孤立していた( 10 )に接近し、その資本導入に成功して建設を開始したのが( 15 )であった。

日露開戦は、イギリスと( 10 )間の関係修復打開の契機となった。また、両国は( 13 )の下での海軍の大増強と( 16 )を掲げるドイツに対し、共に脅威を感じていた。そこで1904年4月、( 17 )協商が成立し、エジプトと( 18 )をめぐる両国間の長年の対立を、相互の優越を承認することで一挙に解決した。

1905年3月の( 19 )に続き、5月の( 20 )に日本が大勝利を取めると、セオドア＝ローズヴェルト大統領は、100年前の( 21 )提督率いるイギリス海軍による( 22 )以上だと、我がことのように喜んだ。

( 17 )協商を結んだイギリスは、次いでロシアとの和解を求めた。( 10 )も、英露間の緊張は( 23 )の利益になることから、英露の接近を促した。しか

も、( 24 )はバルカン半島や近東における両国の利害関係と鋭く対立するに到っていた。そこで、1907年8月に英露協商が成立する一方、同年6月と7月には、日仏協約と( 25 )が相次いで成立したのである。

- (1) a 1901    b 1902    c 1903    d 1904
- (2) a 遼東半島    b 黄河流域    c 長江流域    d 山東半島
- (3) a 3C政策    b 3B政策    c アフリカ問題  
d ヨーロッパ問題
- (4) a 光栄ある孤立    b 大陸政策    c 海軍増強策    d 同盟政策
- (5) a 1900    b 1901    c 1902    d 1903
- (6) a 南下    b 東進    c 西進    d 北上
- (7) a 孤立    b 兵力    c 中立    d 支援
- (8) a 援助    b 兵力    c 借款    d 外債
- (9) a 借款    b 調停    c 戦闘    d 援助
- (10) a フランス    b ドイツ    c アメリカ    d イタリア
- (11) a 1891    b 1892    c 1893    d 1894
- (12) a ビスマルク    b タレーラン    c カイザー    d メッテルニヒ
- (13) a フリードリヒ=ヴィルヘルム4世    b ヴィルヘルム1世  
c ヴィルヘルム2世    d フランツ2世
- (14) a 神聖同盟    b 三国同盟    c 三国協商    d 再保障条約
- (15) a シベリア鉄道    b 東清鉄道    c バム鉄道    d 南満州鉄道
- (16) a 3C政策    b 建艦政策    c 「世界政策」    d 膨張政策
- (17) a 英仏    b 英露    c 日仏    d 日露
- (18) a 南アフリカ    b タンジール    c モロッコ    d スーダン
- (19) a 奉天会戦    b 遼陽会戦    c 旅順攻囲戦    d 203高地の戦い
- (20) a 豊島沖海戦    b 鴨緑江渡河戦    c 日本海海戦    d 黄海海戦
- (21) a デューイ    b キング    c キンメル    d ネルソン
- (22) a トラファルガーの海戦    b ユトランド沖海戦  
c マニラ湾の戦い    d ドッガーバンク海戦



- (23) a ロシア    b フランス    c イタリア    d ドイツ
- (24) a 3B政策    b 3C政策    c 建艦競争    d 覇権主義
- (25) a 三国同盟    b 四国協商    c 日露協約    d 三国協商

**3** 次の文章(A～F)を読んで、後の問(1, 2)に答えなさい。答えは選択肢(a～d)からもっともふさわしいものを1つ選びなさい。

A 8世紀後半から、スカンディナヴィア半島や( 1 )に住んでいたノルマン人の一部が、ヨーロッパ各地への侵入を繰り返した。( 2 )に率いられた、ノルマン人の一派が、スラヴ人地域に進出し826年に建設したのがノヴゴロド<sup>(19)</sup>国である。その後ノヴゴロド公が南下し( 3 )公国を建てた。これらがロシアの始まりとなったとされている。やがてこの地域に移住してきたノルマン系の人々は、先住民に同化してスラヴ化した。

B ( 3 )公国の( 4 )は、10世紀、ビザンツ皇帝の妹と結婚し、ギリシア正教に改宗した。農民の農奴化と貴族の大土地所有が進んだが、国内は、大土地所有者の諸侯が分立して、まとまりがなかった。13世紀には( 5 )の率いるモンゴル人が侵入し、南ロシアに、( 6 )を都としたキプチャク＝ハン国<sup>(20)</sup>が建てられ、スラヴ人諸侯はモンゴルの支配下<sup>(21)</sup>におかれた。

C 15世紀末、モスクワを中心に勢力を伸ばしていたモスクワ大公国は、イヴァン( 7 )世のもと、モンゴル支配から脱却した。彼は、ビザンツ最後の皇帝の姪と結婚し、自身がビザンツ皇帝の後継者だとして、ツァーリの称号<sup>(22)</sup>を用いた。また、モスクワを「第3のローマ」と名付けた。イヴァン( 7 )世の孫であるイヴァン雷帝は、( 8 )年に親政を開始してツァーリの称号を正式に使用した。また、領土をひろげ、( 9 )が占領したシベリアの一部も領土に組み入れ、シベリア進出にも着手した。1613年、( 10 )＝ロマノフが皇帝になり、その治世下では農奴制が強化された。

D スラヴ人は、東スラヴ人、南スラヴ人、西スラヴ人と大きく3つのグループに分けられる。東と南のスラヴ人には、ビザンツ帝国の影響が及んだ。ビザンツ帝国では、7世紀以後、ギリシア語が公用語化した。ギリシア文字をもとにスラヴ人へのギリシア正教の布教のためグラゴール文字をつくったのが、( 11 )である。今日ロシアで使われている文字は、このグラゴール文字から発展した。ロシア語は、( 12 )語族に属している。

E 南スラヴ人のなかで多数をしめる( 13 )人は、9世紀頃までにキリスト教を受け入れ、14世紀前半にはバルカン半島北部を支配する大勢力となったが、14世紀末、オスマン帝国に( 14 )で敗れた。

F 西スラヴ人を代表するのがポーランド人・チェック人・スロヴァキア人だが、かれらは主に、ローマ=カトリックに改宗し、ラテン文化の影響を受けた。ポーランド人は10世紀頃建国し、14世紀前半には( 15 )のもとで繁栄した。経済発展を背景に、ポーランドは14世紀末には( 16 )と合併し、ヤゲウォ朝が成立した。そして15世紀初めにはタンネンベルクの戦いでドイツ騎士団に勝利した。チェック人は10世紀に( 17 )王国を建国したが、11世紀以降、神聖ローマ帝国に編入された。スロヴァキア人は、チェック人と同じ起源をもつと考えられているが、10世紀以降、現在のハンガリー人の祖であるマジャール人の支配をうけた。マジャール人はアジア系民族で、9世紀末に( 18 )に定住し、建国した。

問1 空欄(1~18)に入るのもっともふさわしい語は、それぞれ何か。

- (1) a カルパティア山麓      b ユトランド半島  
c コーカサス地方      d 大ブリテン島
- (2) a リューリク      b テオドリック      c オドアケル  
d クローヴィス
- (3) a モスクワ      b キエフ      c ペテルブルク      d ワラキア

- (4) a マーチャーシュ1世    b シメオン1世  
c ウラディミル1世    d カジミエシュ3世
- (5) a トウルイ    b テムジン    c バトゥ    d ジュチ
- (6) a タブリーズ    b サマルカンド    c サライ  
d スルターニーヤ
- (7) a 1    b 2    c 3    d 4
- (8) a 1530    b 1533    c 1547    d 1584
- (9) a ラクスマン    b イェルマーク    c イエラチッチ  
d パラツキー
- (10) a ニコライ    b アレクサンドル    c ピョートル  
d ミハイル
- (11) a キュリロス    b グレゴリウス    c ベネディクトゥス  
d ヒエロニムス
- (12) a インド=ヨーロッパ    b ウラル    c アルタイ    d セム
- (13) a セルビア    b クロアチア    c スロヴェニア  
d ブルガール
- (14) a コソヴォの戦い    b タラス河畔の戦い  
c ニコポリスの戦い    d クレシーの戦い
- (15) a フリードリヒ1世    b カール6世    c マーチャーシュ1世  
d カジミエシュ3世
- (16) a リトアニア    b ラトビア    c モルダヴィア  
d ワラキア
- (17) a ベーメン    b ブルガリア    c モラヴィア  
d サルデーニャ
- (18) a パンノニア    b アルバニア    c ダキア  
d クロアチア

問2 下線部(19~25)にそれぞれ対応する設問(19~25)に答えなさい。

- (19) スラヴ人地域に進出した一派は何と呼ばれたか。  
a フィン人    b デーン人    c ルーシ    d アヴァール人
- (20) キプチャク=ハン国は何年まで続いたか。  
a 1328    b 1480    c 1502    d 1584
- (21) モンゴルによる支配はどのように表現されたか。  
a 「羊が人間を食う」    b 「棍棒外交」  
c 「タタールの平和」    d 「タタールのくびき」
- (22) ツァーリの称号はロマノフ王朝滅亡まで用いられたが、最後のツァーリは誰か。  
a アレクサンドル2世    b ピョートル3世    c ミハイル2世  
d ニコライ2世
- (23) チェック人が9世紀に建てたスラヴ人の国を何というか。  
a モラヴィア王国    b モルダヴィア公国  
c リトアニア大公国    d ワルシャワ大公国
- (24) ヤゲウォ朝の首都はどこにおかれていたか。  
a ソフィア    b プラハ    c クラクフ    d ポズナニ
- (25) マジャール人がオットー1世に敗れ、西方進出を阻止された戦いを何というか。  
a カタラウヌムの戦い    b レヒフェルトの戦い  
c ポワティエの戦い    d ネーズビーの戦い

4

19世紀以降の植民地主義に関する文章(I~II)を読んで、問(1~22)に答えなさい。

I ここに挙げた史料は1837年にフランスとアルジェリアとの間で結ばれた条約の抜粋である。

「第一条 アミールである(ア)は、アフリカにおけるフランスの主権を承

認する。(中略)

第三条 アミールはオラン州とティトゥリ州、及びアルジェ州の、第二条で示されたフランスの領域に組み込まれる東部を除く一部の地域を統治する。彼は他のいかなる地域にも侵入できない。(中略)

第十一条 フランス人はアラブ人の領土で、アラブ人はフランス人の領土で尊重される。フランス臣民がアラブ人の領土で獲得したあるいは獲得するであろう農地や土地所有権は彼らに保証される。フランス臣民はそれを自由に享受し、アミールはアラブ人がフランス人に与えた損害に対して償還する義務を負う。(後略)」

(1) 条文中の「アミール」とは「族長」の意味だが、この条約をフランス側と直接結んだ(ア)に入る族長の人物名を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アブドゥル=カーディル      b サモリ=トゥーレ  
c ムハンマド=アッサヌーシー      d ムハンマド=アフマド

(2) この条約は1830年に始まったフランスによるアルジェリア攻略の一環であり、条約による和平はフランスの時間稼ぎの口実に過ぎず、1839年には再びフランスは戦闘を開始する。その後アルジェリアを直轄領とした時のフランスの元首は次のうちの誰か、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ルイ18世      b ナポレオン3世      c ルイ=フィリップ  
d シャルル10世

(3) アルジェリアへのフランスからの入植者は、ある事件をきっかけに急増するが、急増をもたらした事件としてもっとも適切なものを次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 1851年のルイ=ナポレオンのクーデタ      b 普仏戦争  
c 二月革命      d 六月暴動

(4) アルジェリア攻略で活躍し、二月革命後にアルジェリア総督に就任したものの、1848年12月の大統領選挙でルイ＝ナポレオンに敗北した人物を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ラマルティーヌ
- b ギゾー
- c カヴェニャック
- d プルードン

(5) アルジェリア攻略が始まった1830年に起きた事件ではないものを次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a シャルル10世が退位し、イギリスに亡命した。
- b ポーランドのシュラフタらがロシアからの独立を求めて反乱を起こした。
- c ベルギーではレオポルド1世が即位してベルギー王国を創設した。
- d イギリス、フランスなどがロンドン議定書を締結し、ギリシアの完全独立を承認した。

(6) アルジェリアと同じマグリブ三国のひとつチュニジアもフランスの保護領となる。これに先立って開催されたベルリン会議により、この地域に対するフランスの優越権が承認されたことが背景にあるが、この会議の開催年を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 1878年
- b 1880年
- c 1882年
- d 1884年

(7) (6)の会議はロシアの南下政策に猛反対した国の意向を汲んでビスマルクが開催した。ロシアに反発した国としてもっとも適切な国名を次の選択肢(a～f)から2つ選びなさい。

- a イギリス
- b イタリア
- c オーストリア
- d フランス
- e ドイツ
- f オスマン帝国

(8) マグリブ三国のひとつモロッコは1912年のフェズ条約によりフランスの保護領となるが、これは二度にわたるドイツとの争い(モロッコ事件)を経てのことであった。第一次モロッコ事件の際、ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世が、モロッコの領土保全、門戸開放を主張して突如訪問した町はどこか。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アガディール
- b タンジール
- c ジブラルタル
- d アルヘシラス

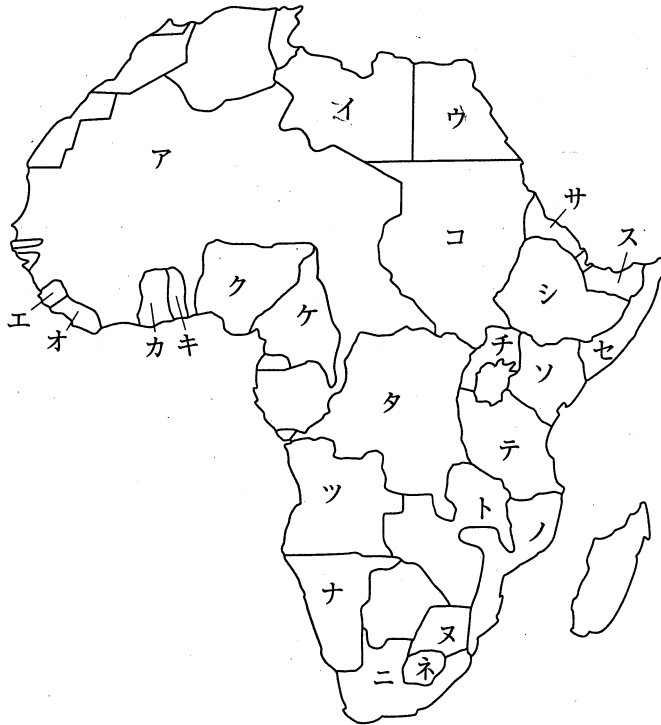
(9) 最終的にモロッコでの権益を確保するのはフランスだが、その背景のひとつにフランスがとっていたアフリカ横断政策がある。この政策は、フランス領西アフリカとアフリカ東部の地域を結ぶ計画であった。このアフリカ東部の地域のうちフランスが1896年に植民地化した地はどこか。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ケニア
- b スーダン
- c エリトリア
- d ジブチ

(10) アルジェリアは、激しい民族解放闘争の末、1962年に独立するが、1954年にインドシナの独立、また1960年に多くのアフリカ植民地の独立を認めたにもかかわらず、フランスがアルジェリアの独立を拒んだ理由として、もっとも適切なものを次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アルジェリアには豊富な地下資源があり、多額の投資をしていたから。
- b フランスは新植民地主義の立場をとっていたから。
- c パレスチナ独立を牽制するため。
- d フランス国内におけるド＝ゴールの権力を維持するため。

II 以下の地図は、ヨーロッパ列強によって分割された1914年当時のアフリカ大陸である。主に19世紀以来、ヨーロッパ列強は、原料や資源の獲得、商品市場の確保、戦略基地の設置などのために、時に国の威信もかけてこの地を征服、植民地化し、現地での権益を巡って列強間での争いも起きた。この時期のヨーロッパ各国によるアフリカの分割と植民地化の影響は、独立後50年を経た現在においてなお、アフリカに暗い影を落としている。



- (11) 1870年代後半から1880年代にかけて、コンゴ地方の探索を行った探検家を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a スタンリー    b ヘディン    c ゴードン  
d リヴィングストン





(18) 1898年イギリスのアフリカ縦断政策とフランスのアフリカ横断政策の衝突によりファシヨダ事件が起きるが、ファシヨダがある地域を地図から探し、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a イ    b ウ    c コ    d テ

(19) ガーナは1957年にイギリス連邦内の自治領として独立を果たすが、その後ガーナ共和国となったこの国は地図上のどこにほぼ相当するか。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a カ    b キ    c ク    d ケ

(20) ガーナ共和国初代大統領を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a セク＝トゥーレ    b エンクルマ    c ルムンバ    d ナセル

(21) 1958年、国民投票によってフランスからの完全独立を果たした国家を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a ガボン    b ギニア    c コートジボワール    d ナイジェリア

(22) 1963年5月アフリカ諸国首脳会議が開催され、アフリカ諸国の統一と連帯の促進、生活水準の向上、植民地主義の一掃、国連憲章の尊重などをとらえた「アフリカ統一機構憲章」が調印された。この会議が開催された都市は地図上のどの地域にあるか。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a シ    b ソ    c タ    d ニ